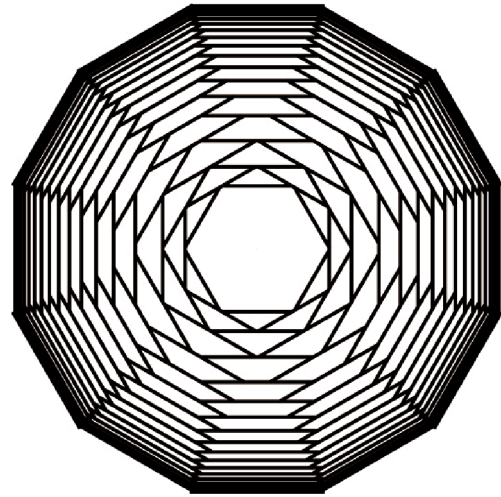


ARTCOURT Gallery

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 530042 JAPAN

アニアス・ワイルダー展「Collider」開催のお知らせ



大量の角材や板切れを釘や接着剤を一切使わずに、一定の法則に従って注意深く積み上げ、ゆるやかにウェーブした塔や壁、あるいは鳥かごや釣り鐘のような構造物を生み出すアニアス・ワイルダー。

重力と各々の木片の間にはたらく微妙なバランスのみによって自立する巨大な構造物とその空間は、張りつめた空気と静寂、そしてその内に秘められた強いエネルギーの気配に満ちています。しかし、長い時間と神経を費やし作り上げられたその形態は、最後に作家自身の一蹴りによって轟音とともに崩れ落ち木片の山へと還元されます。それらの木片は新たな組成の可能性を孕み、組成→自立→還元という一連の出来事が繰り返されることを示唆します。

ワイルダーは、このシンプルかつ本質的な循環現象を世界各地で生起させ提示し続けていますが、本展では彼の制作活動において最も重要なコンセプトのひとつである「終末＝衝突」、約 40 億年後に地球が太陽に衝突するその瞬間を象徴しているという巨大な球体をギャラリー空間に出現させます。さらに、これまでデモンストレーションとして頻繁に行なわれてきたキックダウン、すなわち「還元」とは対照的に、極度の集中力を要するがゆえに公開されることがほとんどなかった「組成」の過程が公開制作という形で展示に組み込まれます。

前回の展示において鮮烈な印象を人々の心に刻み込み、その再来を心待ちにされながら約 3 年ぶりとなる関西での個展、どうぞご期待下さい。

写真左：球体インスタレーションのためのプラン拡大図／写真右：球体インスタレーションのためのCGプラン

◆展覧会概要

タイトル：アニアス・ワイルダー展「Collider」

会場：アートコートギャラリー 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

会期：2008年11月18日（火）～12月13日（土） *日・月・祝休

開館時間：11:00～19:00（土曜日～17:00）

主催／企画：アートコートギャラリー（有限会社 八木アートマネジメント）

協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、オー・イー・ピーマネジメント株式会社

◎公開制作

日時：2008年11月15日（土） 13:00～16:00

場所：アートコートギャラリー

◎トーク&オープニングレセプション

日時：2008年11月18日（火）

アーティストトーク 18:00～19:00

オープニングレセプション 19:00～20:00

場所：アートコートギャラリー

◆同時開催：“ARTCOURT Eyes” 牡丹靖佳による映像作品などを展示します。

お問合せ：アートコートギャラリー（担当 八木、清澤） ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAP アートコート1F TEL: 06-6354-5444 FAX: 06-6354-5449

E-mail: info@artcourtgallery.com URL: www.artcourtgallery.com



ARTCOURT Gallery

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

◎ 展覧会タイトル「Collider」について

“Collider (コライダー)” とは高速度に加速した荷電粒子を正面衝突させ、高エネルギーの素粒子反応を発生させる装置で、「衝突型加速器」とも呼ばれます。特に最近では、スイスとフランスの国境地帯で2008年9月に稼働を開始した大型ハドロン衝突型加速器 (Large Hadron Collider、略称 LHC)では、極小のビッグバンを再現する実験が予定され、その過程で極小型のブラックホール発生の可能性が指摘され話題を集めました。(※電気系統システムの欠陥により現在運転を停止中)

ワイルダーは宇宙の誕生と消滅の謎を解く可能性をもつこの装置と、自身の作品との関連性を示唆しながら、球体作品について以下のように述べています。

「球体のイメージは『衝突』という概念と対になっていて、地球の終焉、すなわち今から約40億年後に地球が太陽に衝突するその瞬間についての私の深い関心とも結びついています。また一方で、内部が空洞になった球体は、この12ヶ月間私がずっと考えて来たこと、卵子と精子のイメージを想起させます。まったく異なる、そしてとても美しい意味において、それもまた『衝突』と言えるでしょう。」

(アーティストがギャラリーに宛てたメールより)

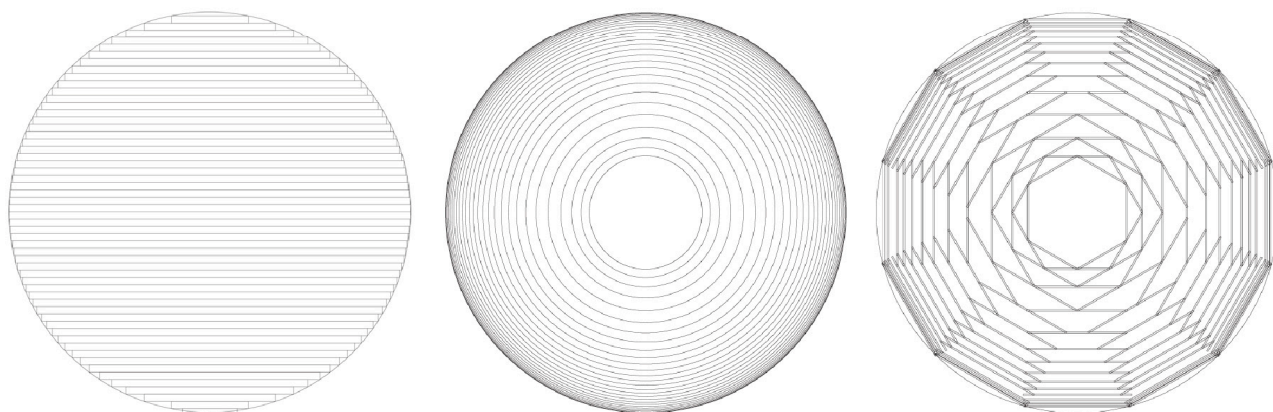
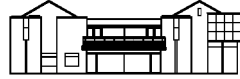


写真:球体インスタレーションのためのプラン

◎主な出展予定作品

本展では、中心的な作品となる直径5mの球体インスタレーションに加え、巨大な壁面ドローイング、中庭でのキネティックインスタレーション、最近のベルギーにおけるインスタレーションの模型等の展示が予定されています。

お問合せ: アートコートギャラリー (担当 八木、清澤) ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。
〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL: 06-6354-5444 FAX: 06-6354-5449
E-mail: info@artcourtgallery.com URL: www.artcourtgallery.com



ARTCOURT Gallery

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

アニアス・ワイルダー Aeneas Wilder

- 1967 スコットランド、エディンバラ生まれ
- 1993 ダンディ美術大学ダンカン・オブ・ジョーダンストーン校
彫刻科卒業
- 1994 エディンバラ美術大学大学院彫刻科修了

主な展覧会・レジデンス:

- 1995「トランシエント・ワークス」/ピサ、カララ、フィレンツェ、イタリア
- 1996「アウト・サイド・アート」セントラル・クイーン・ストリート・ガーデン
/エディンバラ、スコットランド
- 1997「スコティッシュ・スカulptチャー・オープン9」/スコットランド各地で巡回展開催
- 1998「岩手の風土と英国文化の出会いー岩手アートフェスティバルUK98」
萬鉄五郎記念美術館/岩手
- 2000「サロング」ホーダランド芸術センター/ベルゲン、ノルウェー
- 2001「トランス=アート」/トロンドウハイム、ノルウェー
クンスターハウス(レジデンス)/セントジョンポートジョリ、カナダ
- 2002「ミニストリー・オブ・トゥルース」ベミス現代芸術センター/オハマ、アメリカ
「春のアーティスト・イン・レジデンス展」国際芸術センター青森/青森
クンスト・エン・コンプレックス/レジデンシー/ロッテムダム、オランダ
- 2003「アニアス・ワイルダーの7日間」岩手県立美術館/岩手
「アニアス・ワイルダー 転生ーいつかみる風景」
京都芸術センター(レジデンス)/京都
- 2004「アニアス・ワイルダー 響きの森」国際芸術センター青森/青森
「アニアス・ワイルダー展 ニュープロジェクト」
中京大学アートギャラリーC.スクエア/名古屋、愛知
- 2005「アニアス・ワイルダー展」アソシエーション・ポラン /モンフランキン、フランス
「アニアス・ワイルダー展」シルパコーン大学ギャラリー/バンコク、タイ
「アニアス・ワイルダー展 経験論」アートコートギャラリー/大阪
- 2006「アニアス・ワイルダー展」ガジャック美術館/ヴィルヌーヴシュロット、フランス
- 2007「アニアス・ワイルダー展」エクスペロアトリウム/サンフランシスコ、アメリカ



前回の個展での展示風景: Untitled #116